

「大学入学者選抜における好事例集」について

事例集作成の目的

- 令和3年7月に取りまとめられた「大学入試のあり方に関する検討会議提言」においては、記述式問題の出題や総合的な英語力の育成・評価、多様な背景を持つ学生の受入れなどについて、他大学の模範となる先導的な取組を推進するため、客観的なデータを踏まえたピアレビュー等に基づき好事例を認定し、公表することが提言されている。
- これを踏まえ、文部科学省において、令和3年10月に「大学入学者選抜における好事例選定委員会」を設置し、高大接続改革や大学入学者選抜方法の改善を一層促進する観点から、令和3、4、6年度において、他大学の模範となる好事例を選定し、本事例集を取りまとめた。

【令和6年度】https://www.mext.go.jp/content/20260327_mxt_daigakuc02_000005144_1.pdf

【令和4年度】https://www.mext.go.jp/content/20230525-mxt_daigakuc02-000005144_2.pdf

【令和3年度】https://www.mext.go.jp/content/20220818-mxt_daigakuc02-000005145_2.pdf

好事例の選定方法

- 調査対象は国公立大学・短期大学で、各大学から好事例と考えられる取組について記載いただいた大学入学者選抜実態調査の回答をもとに選定委員会において審査を実施し、他大学の参考となり得ると考えられる取組**44件**を選定した。
- 選定にあたっては、「大学入学者選抜のあり方に関する検討会議提言（R3.7.8文部科学省）」を踏まえ、特に推進が求められている以下を選定の対象項目として設定した。

ア	総合的な英語力の評価・育成	(選定件数：9件)
イ	思考力・判断力・表現力の評価・育成	(選定件数：16件)
ウ	多様な背景を持った学生の受入れへの配慮	(選定件数：8件)
エ	高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進	(選定件数：12件)
オ	文理融合の推進やその他の好事例	(選定件数：2件)

※複数の区分で選定されている好事例もあるため、選定件数の合計は44件と一致しない。

「大学入学者選抜における好事例集」について

選定区分ア 総合的な英語力の評価・育成

● 広島大学「総合型選抜IGS国内選抜型」(令和6年度)

英語面接による選抜及び書面審査（英語資格・検定試験スコア又は英語能力を証明できる書類提出必須）を**実施**し、総合的に評価。
（国際共創学科（IGS））入学後も、英語によるグループワークやアクティブラーニング授業を展開し、英語力向上を目指す。

● 明治大学「学部別入試（英語4技能試験活用方式）」(令和4年度)

英語資格・検定試験のスコアを出願資格又は得点加算に活用し、その加点の基準は、総合スコアのみならず4技能毎のスコアも各試験に応じて設定。入学後も将来海外留学や国際ビジネス分野での活躍を目指すためのカリキュラム等の学修機会を提供。

● 小樽商科大学「グローバル総合入試」(令和3年度)

第1次選抜は英語で作成した志望理由書等を審査。第2次選抜は英語を主体としたグループディスカッション及び口頭試問。入学前に留学するギャップイヤーを導入し、入学後のグローバルコースでの学びと連続性を持たせる。

選定区分イ 思考力・判断力・表現力の評価・育成

● 産業能率大学「未来構想方式（一般選抜）」(令和6年度)

試験当日の未来構想レポート及び事前課題で、主体的な課題解決能力と思考力・判断力・表現力を総合評価。各学年に開設する地域連携PBL科目において、発展的な学びへ接続。

● 宮城大学「一般選抜」(令和4年度)

一般選抜の個別学力検査で「読解」「情報分析及び活用」「表現」の観点からなる記述式総合問題『論説』を出題。従来の小論文ではカバーできない探究活動で培った力、特に論拠を見出して論理的に思考し、とりまとめる力を評価。

● 長崎大学「一般選抜」(令和3年度)

問題を通じて考えたことを表現させるなど思考の広がりを求める高度な記述式問題を英語・数学・理科で導入。大学、高校及び教育委員会の三者が連携した「高度な記述式問題に関する研究を行う検討会」を設置し、共同で作問研究。

「大学入学者選抜における好事例集」について

選定区分ウ 多様な背景を持った学生の受入れへの配慮

● 広島大学「総合型選抜 フェニックス型」(令和6年度)

中高年を対象とした選抜を実施し、キャンパスの多様性を実現。長期履修制度や大学院への進学支援を整備し、意欲ある中高年へのリカレント教育を推進。

● 東京女子大学「知のかけはし入学試験」(令和4年度)

経済的理由により進学が困難な女子生徒に対して、多面的・総合的評価を行う総合型選抜に奨学金制度を付け、年内に進路を決定。学納金相当額（入学金・授業料・教育充実費）及び寮費相当額（該当者のみ）を卒業までの4年間にわたって給付。

● 東洋大学「外国にルーツを持つ生徒対象入試」(令和3年度)

外国籍を有する者もしくは日本国籍を取得して6年以内の者を対象。入学後は留学生向けの「日本語サポート」「日本語プログラム」の受講が可能。

選定区分エ 高校との連携をはじめとする高大接続改革の推進

● 香川大学「ナース・プロフェッショナル育成入試（総合型選抜Ⅰ）」(令和6年度)

出願時に「入学までの学習計画」を提出させることで主体的に学ぶ意欲を醸成。提出された学習計画に基づく入学前教育を行うことで高大接続を実現。

● 工学院大学「探究成果活用型」(令和4年度)

協定校と共催する探究シンポジウム（合同発表会・交流会等）を通じて、高校生が日頃取り組んでいる探究活動の発表・交流の場を構築。高校生の探究成果をアーカイブする探究データベースの構築など、大学の得意分野を活かした高大接続の取組を推進。

● 金沢大学「KUGS特別入試」(令和3年度)

大学生活をスタートする前に、大学での学修に必要な資質・能力を育成するため、志願者が、セミナー等様々な探究的な学びの機会である「KUGS（金沢大学グローバルスタンダード）高大接続プログラム」を受講し、修了認定された者に出願資格を付与。

選定区分オ 文理融合の推進やその他の好事例

● 東北大学「一般選抜/AO入試Ⅲ期（総合型選抜）」(令和6年度)

経済学部において、従来の文系入試に加え、理系入試を導入。（理系の数学のみならず理科も必須科目とした入試を経済学部で実施しているのは東北大学のみ。）数学を重視したカリキュラム変更により文系学生にも数理の重要性が波及。

● 青山学院大学「社会情報学部入試（個別学部日程D方式）」(令和4年度)

社会科学・人間科学・情報科学分野の教員構成となっている、文理融合系学部の特徴を活かした多様な視点での考察を測る独自問題（総合問題）を出題。入学後に文理融合の複数領域を学ぶ資質を評価できる入試を実現し、入学後のミスマッチを防ぐ。